

令和2年度 自己評価報告書 (評価編)

評価対象期間 自：平成31年4月 1日
至：令和 2年3月31日

評価基準日 令和 2年5月 1日

令和2年8月



学校法人 電子学園

日本電子専門学校

目 次

教育重点項目 1	1
教育重点項目 2	2
1. 教育理念・目的・育成人材像等	3
2. 学校運営	4
3. 教育活動	5
4. 学修成果	7
5. 学生支援	8
6. 教育環境	9
7. 学生の募集と受入れ	10
8. 財務	11
9. 法令の遵守	12
10. 社会貢献	13
11. 国際交流	14

教育重点項目 1 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		4	3	2	1	0
重点-1	NEXT10（日本電子専門学校の更なる伸張）の確実な実施	4	③	2	1	0

①課題

1) 「建学の精神」の実現に向けた「教育の質の保証・向上」分科会、ポリシー策定プロジェクトにおいて、平成30年度中に完成予定であった1/5学科ならびに、令和元年度に完成予定であった3/6学科のポリシーが未完に終わった。全体の完成度は38.1%（8/21）

②今後の改善方法

1) 未完成学科は、令和2年度に作業を継続して完成させる。さらに令和3年度入学者向けのカリキュラム作成に反映させる。

③特記事項

教育重点項目 2 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		4	3	2	1	0
重点-2	新教育体制の確立	4	③	2	1	0

①課題

年度終盤に新型コロナウイルス感染症に翻弄され、万全な体制が確立（業務分担の詳細化完了）したとは言えない。

②今後の改善方法

業務分担の詳細化が完了することをもって体制確立とするために、新型コロナウイルス感染症禍への対応業務を通じて煮詰めていく。

③特記事項

1. 教育理念・目的・育成人材像等 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1	0
1-2	学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1	0
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1	0
1-4	学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1	0
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

2. 学校運営 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
2-6	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	0
2-7	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1	0
2-8	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④	3	2	1	0
2-9	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1	0
2-10	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1	0
2-11	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1	0
2-12	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1	0
2-13	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

2-8 大学法人としての基本的な規則・規程の整備を行った。

3. 教育活動 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
3-14	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	0
3-15	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	0
3-16	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1	0
3-17	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1	0
3-18	関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行なわれているか	④	3	2	1	0
3-19	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1	0
3-20	授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1	0
3-21	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	0
3-22	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	0
3-23	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1	0
3-24	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1	0
3-25	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1	0
3-26	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか	④	3	2	1	0
3-27	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1	0

①課題

- 3-16 カリキュラムポリシーに基づいた、体系的なカリキュラム編成の構築を進めている途中のため、より充実した内容にするための検討を継続していく必要がある。
- 3-23 質保証の観点から掲げた資格取得の指導体制としては、教員の意識改革を含めて年々改善してきてはいるが、目標とするレベル以上の資格を学生全員が取得するという目標は達成できていない。
- 3-24 人事部が中心となり教員採用活動を行っているが、増加している学生数に対して、継続した専任教員の確保が必要である。

②今後の改善方法

- 3-16 各学科のカリキュラムポリシーの策定に合わせて、体系的なカリキュラムへの見直しを計画的に進める。既にポリシーが策定された学科については、ポリシーに基づいたカリキュラムへと更新する。
- 3-23 目標資格を取得させる指導体制を確立するため、目標達成状況の向上が見受けられない学科を重点的に、各教員の意識改革および具体的な指導方法の見直しを図る。また、上位資格取得への対応についても、指導体制およびカリキュラムの見直しを図る。
- 3-24 人事部と教育部署が連携し、組織的な人材育成および学生の在籍人数に見合った計画的な専任教員の確保に継続的に取り組む。

③特記事項

4. 学修成果 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
4-28	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	0
4-29	資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1	0
4-30	退学率の低減が図られているか	4	③	2	1	0
4-31	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1	0
4-32	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1	0

①課題

4-30 退学率は全体として昨年度から 0.27p の減少であった。しかし、主に取り組んでいる学習を理由とした退学率は 4.34%で昨年度より 0.45p 増加となった。

②今後の改善方法

4-30 クラス担任とキャリアセンター（キャリアサポーター）が情報を共有しながら、継続的に予防対策や早期に対応する取り組みを通じ、退学率の低減に努める。開発した担任が行う在籍管理ガイドラインの実施状況の確認や、授業アンケート結果等から具体策を見つける。
また、NEXT10 分科会「EM・IR による組織的学生の指導の充実」で実施されている、ドロップアウトに至る学生の傾向を分析することを目的とした新入生アンケートや卒業生アンケート結果の分析精度を上げて、具体的な施策の素案につなげていきたい。

③特記事項

5. 学生支援 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
5-33	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
5-34	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1	0
5-35	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
5-36	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1	0
5-37	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
5-38	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1	0
5-39	保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1	0
5-40	卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1	0
5-41	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1	0
5-42	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

6. 教育環境 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
6-43	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1	0
6-44	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1	0
6-45	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

7. 学生の募集と受入れ 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
7-46	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1	0
7-47	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1	0
7-48	学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

7-46 令和元年度に取り入れた、「オンライン学校説明会」について、入学希望者に対する情報発信の質・量ともに適切であるか、学生募集手法として正しく機能しているか検証が必要である。令和2年度もオンライン学校説明会を実施し、参加者アンケートによる、定性的・定量的な分析を通して検証する。

8. 財務 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
8-49	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1	0
8-50	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1	0
8-51	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1	0
8-52	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

8-51 令和元年度から私立学校振興助成法第14条第3項に準じた公認会計士監査を実施している。

9. 法令等の遵守 評価と今後の改善方法 教育重点項目

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
9-53	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	0
9-54	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1	0
9-55	自己評価の実施と問題点の改善を行なっているか	④	3	2	1	0
9-56	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

10. 社会貢献 評価と今後の改善方法

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
10-57	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1	0
10-58	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1	0
10-59	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

11. 国際交流 評価と今後の改善方法 教育重点項目

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
11-60	留学生の受入れ・派遣について戦略を持っているか	④	3	2	1	0
11-61	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④	3	2	1	0
11-62	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整理されているか	④	3	2	1	0
11-63	学習成果が国内外で評価される取組みを行なっているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項